

総務・教育常任委員会視察調査報告

福祉・法律の専門家との連携で対応

総務・教育常任委員会では、11月4日及び5日の日程で不登校支援政策の取り組みについて視察研修を行いました。

大阪府大東市の不登校施策では、「学びへのアクセス100%」を基準として、学校・行政・民間が連携し、その児童・生徒に応じた支援の多層な選択肢が整備されており、専門家と連携して対応している。

奈良県大和郡山市不登校対策プログラムでは、誰一人取り残さない教育を目指し、専門家と連携して取り組みを実施しており、学びの多様化学校として、小・中学校の分教室「ASU」が開校されている。専門家の連携と配置等が今後の参考となった。



大和郡山市での視察の様子

市民・都市常任委員会視察調査報告

農業と水道を学ぶ



長岡市での視察の様子

市民・都市常任委員会では、11月10日及び11日の日程で、農業振興と上下水道インフラの老朽化対策について、視察研修を行いました。

新潟県湯沢町では、中山間地における稲作の現状や担い手確保に向けた取り組みについて研修した。地元の農業法人では、遊休農地の受け入れや小区画水田の分散による作業負担など、経営を継続する上での課題と現場の実情を伺った。

新潟県長岡市では、先進技術を活用した水道管路のDX化やデザインマンホールの取り組みを視察し、老朽化対策や人材不足への対応を確認した。今回の視察で学んだことを、今後の本市の取り組みに生かしていきたい。

生活・福祉常任委員会視察調査報告

認知症予防発信事業と一時保育事業

生活・福祉常任委員会では11月5日及び6日の日程で、認知症予防発信事業について及び一時保育事業について視察研修を行いました。

大阪府池田市では、認知症対策のために介護予防教室で、運動と認知課題を組み合わせる脳トレエクササイズを行っている。府の事業を使って効果検証を行った。今後、地域特有の課題を模索し、多様な試みを進めていく。

大阪府豊中市では、図書館での一時保育事業として、委託事業者から保育士を派遣し子どもを預かることで保護者が時間を有効に使える場を提供している。誰もが利用し、滞在しやすい図書館は、本市でも今後の参考となった。



池田市での視察の様子